



良質な農業機械も肥料・農薬も、安価で供給。

安定経営を目指すうえで資材コストの低減も重要な課題のひとつ。たとえば農業機械では、北海道の営農体系に合わせて必要な機能をしっかり装備した省いた独自のトラクターの取り扱いを入れています。また、全道21カ所に中古農機常設展示場を設置し、インターネット情報システム「アルナード」による情報提供を活用しながら、効果的な中古農機・遊休農機の流通促進にも取り組んでいます。このほかにも、BB肥料・大型規格農薬など、良質で安価な資材の供給に努めています。



ふれあいを大切に、地域の生活を応援。

全道のAコープとホクレンショップは「地域の食を守り、地域の活力を支える店舗ネットワーク」をスローガンに事業に取り組んでいます。各店で開催している「もぎたて市」は、毎朝とれたての農産物が近隣の生産者から届けられ、新しい品種を紹介する場にもなっています。また店舗事業以外にも食品や雑貨を宅配するジョイライフ、移動販売車、さらには地域専任のふれあい推進員など暮らしの支援サービスにも取り組み、全道で豊かな暮らしができる地域づくりを応援しています。



安全・安心を生産者とともにしっかり守ります。
農薬やカビ毒などを、食品衛生法で設定されている基準値を超過して残留したまま農産物を流通させると違反になります。ホクレンではこのような項目について検査体制を整備して対応しており、その検査結果を営農対策につなげるよう情報発信を行っています。また、農薬の適正使用に関する研修会を開催するなど、農薬事故防止にも力を入れています。

良質な農畜産物のために良い種、良い苗を。

生産者支援のひとつに、優良な種子や苗の供給があります。そこで滝川種苗生産センターでは、病害虫の心配がない建物内でトマト、ピーマンなどの苗を生産。生産者自身が苗を育てる労力や燃料コストを軽減しています。また、女満別種子工場では、より良い人参を求めて新品種の開発に取り組み、種子の製造から供給までを徹底した品質管理のもとで行っています。この人参種子の加工で培った技術は人参、玉ねぎなどに応用し、種子をコーティングしてまきやすい粒状にするペレット加工も行っています。なお、毎年9月に長沼研究農場で開催する「野菜類・花き品種展示会」では新品種も紹介し、品種特性や栽培法などに関する講習会をJAと連携して各地で行っています。



農作業を楽しくする作業着「チュブルール」が誕生。

「ちょっとおしゃれな作業着がほしい」。そんな女性農業者の声に応えて、アグリウェアの新ブランド「チュブルール」が誕生しました。JA北海道女性協議会メンバーと北海道文化服装専門学校の学生たちが1年以上をかけて開発に取り組み、オーバーオール、サロペットなど9アイテムが完成。現在はAコープチェーンの衣料品移動購買車で扱っています。



海上町農協組合長・JAオホーツクはまなす
代表取締役
平石 茂 さん

ホクレンはもっとも身近なビジネスパートナー。

酪農の現場ではインフラ整備が重要な課題と感じています。鍵となる労働支援・技術支援・経営支援・情報共有の4点においては、JAはもろもろですが大学や行政などの協力も欠かせず、ホクレンは各方面との太いパイプを持っていることから、もっとも身近なビジネスパートナーです。海上町酪農組合では、雑草が増えた牧草地の畜生を改善して飼料自給率を向上させようと、2012年度より「ステップアップ」を推進しています。このプロジェクトを通じて多くのホクレン職員と交流ができ、各関係機関の支援を得る機会に恵まれ、さらに裾野が広がることを期待しています。そしてホクレンにはより一層、生産者の安定・安価供給に努めていただきたい。また、ほくれん丸を使った生乳の北海道への輸送や、生乳の海外輸出においては着実に成果が見受けられており、さらなる販路拡大に努めていただきたいと考えています。